

第20回

気象教室

気象学会九州支部

台風観測と洪水予測の未来

2020年

11月8日 日 13:00-15:30

参加費無料（事前申し込みとインターネット接続環境が必要）
Zoom（先着290名様）とYouTube Live（無制限）によるオンライン開催

第1部

13:10~14:10（13:00~ 接続開始）

「台風の航空機観測」

～米国の流儀、日本の挑戦～

講師：山田 広幸（琉球大学理学部 准教授）



第2部

14:20~15:20

「近年の日本の洪水事例及び

洪水予測研究について」

講師：芳村 圭（東京大学生産技術研究所 教授）



座長

竹村 俊彦（九州大学応用力学研究所 主幹教授）



お問い合わせ

（公社）気象学会九州支部事務局
E-mail : info@msj-kyushu.jp

お申込み方法

ホームページ : <http://msj-kyushu.jp>
右QRコードからフォームからお申し込み



★講演者 1

山田 広幸 (やまだ ひろゆき)

・所属・役職名・略歴

琉球大学理学部 准教授

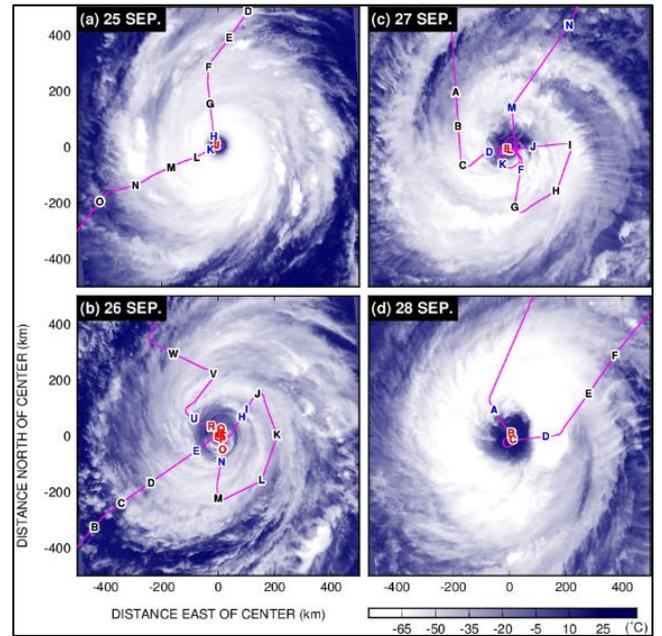
2000年に北海道大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻で博士号を取得後、海洋研究開発機構に研究員として12年間勤務したあと、2012年より現職。現場観測に基づく研究を得意とし、チベットや長江流域、赤道近くの太平洋・インド洋などでの観測に参加してきた。沖縄では台風や梅雨前線の観測研究を進めている。

・講演題目

台風の航空機観測：米国の流儀、日本の挑戦

・講演概要

台風進路の予報精度が年々が向上しているなかで、強さの監視と予報には今なお課題が残る。北西太平洋では、台風の中心付近の観測データが不足し、技術向上を阻んでいるのが原因の一つである。2017年から日本で始まった航空機観測プロジェクトの概要と成果について紹介するとともに、米国の航空機観測に対する独自性についても解説する。



★講演者 2

芳村 圭 (よしむら けい)

・所属・役職名・略歴

東京大学生産技術研究所 教授

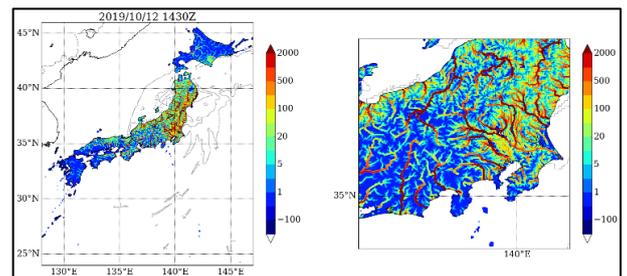
2006年に東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻にて博士号を取得後、カリフォルニア大学スク립ス海洋学研究所で研究員として勤務。2010年に東京大学大気海洋研究所准教授として赴任、2016年に同大学生産技術研究所に配置換え、2019年より現職。

・講演題目

近年の日本の洪水事例及び洪水予測研究について

・講演概要

2015年関東東北豪雨、2018年西日本豪雨、2019年台風19号、2020年7月豪雨などについて、河川洪水の観点から何がどのように起こったかを概観し、そういった洪水の予測について、近年の科学技術の進展によって可能になってきたこと及び将来に向けた課題等について紹介する。



★座 長

竹村 俊彦 (たけむら としひこ)

・所属・役職名・略歴

九州大学応用力学研究所 主幹教授

1974年生まれ。2001年に東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。博士(理学)。2001年から九州大学応用力学研究所助手。2006年から同研究所准教授。2014年から現職。専門はコンピュータを使った大気中の微粒子(エアロゾル)により引き起こされる気候変動・大気汚染の数値シミュレーション。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第5次評価報告書主執筆者(Lead Author)。SPRINTARS PM2.5・黄砂予測を運用。Highly Cited Researcher(高被引用論文著者)に選出中(6年連続)。2018年度日本学士院学術奨励賞・日本学術振興会賞。

お申込み方法

気象教室は、Zoom(先着290名様)とYouTube Live(無制限)によるオンライン開催となります。参加費は無料ですが、以下のとおり事前の参加申し込みとインターネット接続環境が必要です。

お申し込みは、学会ホームページ(<http://msj-kyushu.jp/>)からイベント、気象教室、お申込みフォームへ進み、参加申込みフォームを利用してお申し込み下さい。

- (1) 登録フォームに必須事項を記入して登録。(締め切りは10月30日)
- (2) 気象学会九州支部(info@msj-kyushu.jp)からご登録頂いたメールアドレスへ11月6日までに接続に必要な情報をご連絡致します。
- (3) 当日は、メールのご案内に従って、開始時刻までに接続をお願いします。